

目 次		
研究班の構成	-----	1
I. 総括研究報告		
気候変動に伴う水道システムの生物障害等リスク評価 とその適応性の強化に向けた研究	-----	3
秋葉道宏		
II. 分担研究報告		
1. 水道水源で発生したカビ臭原因物質藍藻類 の簡易同定・定量法の構築	-----	13
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣, 松本恭太		
2. 気候変動条件下における障害生物発生ポテンシャル評価	-----	19
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣, 松本恭太		
3. 障害生物およびその代謝産物の発生メカニズムの解明	-----	37
秋葉道宏, 清水和哉, 西村修, 藤本尚志, 浅田安廣		
4. ダム湖の藻類異常発生予測モデルの構築における 衛星データ等の活用可能性の検討	-----	51
西村修, 佐野大輔, 今本博臣, 三浦耀平		
5. 障害生物発生時における分析方法の開発	-----	57
秋葉道宏, 高梨啓和, 小倉明生, 北村壽朗		
6. 精密分析による水道水原水中溶存有機物の特性解析	-----	69
秋葉道宏, 越後信哉		
7. 粉末活性炭による2-MIBの効率的除去に関する検討	-----	79
秋葉道宏, 清水和哉, 藤本尚志, 高梨啓和		
8. 気候変動により生じる生物障害等リスク に対する対応策の検討	-----	87
柳橋泰生		
9. 気候変動への適応を考慮した水安全計画の改善	-----	95
小坂浩司		
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	99

